

Cyoda City Photo Studio 写真館



4万人が酔いしれた浮き城まつり

7月24日・25日の2日間、第17回市民祭・行田浮き城まつりが開催されました。

25日、夕方からの突然の雷雨が通り過ぎた中央ステージでは、「忍城おもてなし甲冑隊」の結成式が行われ、出陣の舞が披露されると、大勢の観客の注目を集めました。また、その後行われた「だんべ踊り」、「神輿渡御」、そして今年から佐間天神社はやし囃子会も加わり5台となった「山車のたたき合い」が祭りのクライマックスを飾り、熱気は最高潮に。4万人もの来客者誰もが夏の熱いイベントに酔いしれました。

料理を作って学んだ栄養

8月6日、男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」調理室で「親子で作って楽しく学ぼう『食育ってなあに?』」が開催されました。

この日参加した14組の親子が、行田市食生活改善推進員の方らの指導を受け、デコレーションずしなど4品の料理に挑戦。親子で協力すること、栄養バランスが整った食事を取ることの大切さを楽しんで学んでいるようでした。



山田邦子さんが明るく語ったがん治療

7月21日、産業文化会館で行田市医師会主催による健康フォーラム2010が開催され、タレントの山田邦子さんが「大丈夫だよ、がんばろう!」と題して講演を行いました。

出演したテレビ番組がきっかけで、自ら乳がんを発見した山田さん。講演では、検診による早期発見の重要性や主治医との会話を通して前向きに治療に取り組んだ心境などを、ときに明るくユーモラスに冗談を交えながらも真剣に語りました。



昔の暮らしを楽しんで経験

8月7日・8日の2日間、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク主催による足袋蔵昔体験セミナーが忠次郎蔵で開催されました。

市内外から25人の小学生が参加したこの催しでは、足袋とくらしの博物館を見学した後、夕食に食べるうどんを自分たちで打つことに挑戦しました。忠次郎蔵と牧禎舎に分かれて夜を過ごし、翌朝はまきでご飯を炊いたり、藍染め体験をしたりした子供たちは、昔の暮らしを楽しんで経験できたようです。

